

平成25年度「みんなの審査会」～市民参加型事業評価～審査結果詳細

事業番号	1-②	事業名	堺観光周遊バス助成制度(観光振興団体事業補助)			
所管	文化観光	局	観光	部	観光企画	課

【事業内容】				
バスを借り上げて、堺市内の観光施設を周遊する団体に対し、一定の要件のもとでバス1台につき、その借上げ費用の2分の1を限度に助成する。 上限額: 宿泊の場合 50,000 円、日帰りの場合 30,000 円				
総コスト(千円)	(平成 24 年度決算額)	13,315 千円	(平成 25 年度予算額)	13,210 千円

【市民審査員・検討委員から頂いた審査シート記載内容】

【今後の方向性】													
＜市民審査員＞					＜検討委員(参考意見)＞								
今後の方向性	事業の方向性	拡充	/	1	2	2	今後の方向性	事業の方向性	拡充	/		2	1
		現状維持	/	3	6				現状維持	/		1	
		縮小	/	4					縮小	/	1		
		廃止	/		/	/			廃止	/		/	/
			ゼロ	縮小	現状維持	拡大				ゼロ	縮小	現状維持	拡大
公金投入の方向性					公金投入の方向性								

【今後の方向性】《事業の方向性—公金投入の方向性》を選択した理由

《拡充—縮小》

- ・バス助成制度はやめる方向で進めてもらいたい。

《拡充—現状維持》

- ・補助金だけを考えると縦軸と横軸は同じ位置となるでしょうが、①プロモーションの量的質的拡充及び②バス以外を含めて「大きく堺市の観光地化に寄与する方向」を求めて拡充していただきたいという意味です。
- ・魅力ある観光都市堺を目指すことは賛成です。拡充の方向で考えています。しかし観光政策上魅力を出すためには、新しいアイデアが必要であると思います。周遊バス助成制度に力を入れるかは、検討が必要と思いますが、誘客効果上、公金投入は現状維持とします。
- ・まだ見込みのある事業で市として利益も生んでいるので、拡充をお願いしたい。但し、コスト面は厳しくみていく必要がある。市民の理解を得るには、市民へのアピールの方法も検討するべき。
- ・観光客の推進を図ることを考えると、若年層の誘客等に力を入れる、または市民目線のニーズをもっと、調べて頑張りたいです。伊勢神宮との関わり、各地区の氏神神社のアピール、水面下で若い人が全国の氏神めぐりをしていたりします。ぜひ堺をもっと紹介して下さい。

《拡充—拡大》

- ・観光政策の見直しが必要。人が集まる仕掛け、海外からのゲストを迎える環境づくりの為に新しく発足した大阪観光局と連携、大阪一体の中に入って推進するのが必要だと思う。誘客のためには、①修学旅行の誘致②映画製作のロケ地誘致③関西空港のトランジット客の誘致など色々な方法を検討されたい。バス助成制度は①と③には有効活用できるのではないかなと思う。
- ・堺市への観光客誘致について、大変効果のある事業なので拡充したい。
- ・ツアー客個人には大きな影響ないと思うが、ツアー会社への影響はあると思うのでやめるべきではない。近郊(京都、神戸、大阪)地がやはりライバルとなっていると思う。大和川以南への集客困難、せめてバス補助は必要。

《現状維持—縮小》

- ・高齢者の訪問者が多く来市されている。遠くの方々は、空港を利用しているのではないのでしょうか。細かなバスの運行を考えてはどうでしょうか。現状の5万円と3万円の補助は必要であると思います。

**【今後の方向性】**

- ・人を集めるためアピールをするべき。(パンフレット、プロモーションビデオ等を県外の旅行会社に置く)
- ・バス1台につき、2分の1の助成はちょっと金額が多いと思いました。3分の1位の助成にしても大丈夫なのではないかと思えます。

《現状維持—現状維持》

- ・現時点では事業効果が出ていると見受けられるから。
- ・当該の事業に改善等の余地はあると思うが、他の誘客の手法が効果的に作用する為の引き金的役割を担う事ができると思う為。
- ・業者の資金が出ているのか。宣伝効果が出ているのか。
- ・堺市の観光は歴史文化と表現していますが、分野をきめ細かい内容に検討しては。(史跡文化、神社仏閣、産業商業等)
- ・バスについては現状維持でPRして利用者を増やしてもらえれば観光収入にもつながると思う。
- ・観光集客としてのアイデアは、多く実践されているかと思えます。現状を維持しつつ、別の方策を試行してみるのも良いかと思えます。バスの補助を現状の半分等に減額して、別の方策の予算にしては。(バスと絡めて)

《縮小—縮小》

- ・廃止できるのならそれが望ましいが、いきなりは無理なので、段階的に縮小し、いずれか廃止するのがいいと思う。堺の観光魅力だけで誘客出来るようになるのが理想である。
- ・公金投入すべき事業と思えない。(特定産業への公金投入)
- ・今すぐに、廃止するのではなく、誘客出来るような観光地の整備や周辺店舗、交通手段など多面的な方向から見てこの助成無しでも観光に来てもらえるようになってから廃止を目指せば良いと思う。
- ・観光客誘致をするにあたって、観光バス助成の一面のみ取り組むのではなく、他の面からのアプローチも必要だと思ったので。
- ・当初のどっかかりとして投入するのは良いと思うが、いつまでも続けるのもではないと思う。そのことだけに頼っていても今以上の集客は見込めないから。ただ、すぐやめるのもまだ少し早いかも。安いだけで何度も同じ地を訪ねたりしないと思うから

**【改善策について】(複数回答あり)**

		市民審査員	検討委員
改善すべき点	事業の実施内容について見直しが必要(サービスそのもののあり方等)	10	2
	事業規模について見直しが必要(サービスの水準や対象者等)	6	3
	関連事業とのあり方について見直しが必要(統合や再編を含めたあり方等)	5	2
	サービス受給者の負担(受益者負担)について見直しが必要	2	1
	市以外からの財源の確保について見直しが必要	2	0
	担い手のあり方について見直しが必要	1	0
	その他	1	2

**【具体的な改善策提案】※【今後の方向性】で選択した《事業の方向性—公金投入の方向性》ごとに記載**

《拡充—縮小》

- ・堺の特徴をもっと出せないか(自由都市 南蛮貿易)

《拡充—現状維持》

- ・市民にとってなくてはならない事業ではないので、コスト面について、特に厳しい目を持って見てほしい。特に箱物の建設については、管理、保全、将来性も十分に検討していただきたい。堺の町のたたずまいを壊してはもともこもない。
- ・大きな立場からの観光客誘致施策を念頭にその中でのバス事業、補助金事業の位置づけを堺市(民)全体で再構築する事が必要だと思います。
- ・話はそれますが、堺は文化遺産以外が環境や人の対応が良くないことが多く、地方からわざわざ来た若い人たちがショックを受けていたことがありました。市民も見直すことをしないとイケないので、市民に対しても、色々アピールして欲しいです。
- ・観光都市「堺」を本当に目指すのであれば、魅力ある観光商品を提案し、それを実現できるかに尽きると思います。

## 【改善策について】

## 《拡充—拡大》

- ・観光資源の再開発(資源としてはあるが、魅力的になっていない)。文化や産業の体験ができたり、歴史的建築物が群となってまち歩きが楽しめるような工夫が必要。鉄道会社やホテル等とプログラム開発されると良いのではないか。観光全体の総収入額の把握や採算性も考えるなど数値に対する考えを明確に持っていただきたい。
- ・市内観光客用の店舗が構成する団体があれば費用の一部負担をさせたらどうか。(観光協会その他)
- ・これ以外の観光客誘致方法も検討していただきたい。
- ・閑空トランジット客を堺観光に振り向ける施策は良いと思う。(韓国(ソウル)はトランジット時間の観光できたはず)

## 《現状維持—縮小》

- ・堺市民でも、各種サービスを知らないのに、市外の人や(国内)、外国からの訪問者に伝えることができるか。すぐにUSJや東京ディズニーランドに行ってしまう。
- ・市民目線=事業者として考えるべきかと。
- ・高齢者の観光客の人が多いのは良いと思うけど、もっと若い人が来るように歴史を体感できる施設とか、歴史のキャラクターを作ってみたらどうかと思います。パンフレットをもう少し見やすい形にして欲しいです。

## 《現状維持—現状維持》

- ・観光の対象が千差万別(神社仏閣、史跡、地場物産等)ですので、何か一つの所(現在、三宝地区にそれらしきものあり)に集中させること。例えば、アメリカのラスベガスのような(ホテル、カジノ、観光エンターテイメント、テレビ、舞台)一大、娯楽施設を最終の行きつく所というようなものを想像しています。
- ・誘客の方法はまだまだ多くあるのでそれらと連携して効果的に行ってほしい。京都や奈良まち等、歴史的町並みへ何度もリピーターとして行く人は、多数いると思う。そのやり方に右へならえとは言わずとも、何か若年層を掴む為のヒントがありそうな気がします。
- ・痛みを業者と分かち合っているのか。
- ・市外にPRをすればもっと伸びると思う。PRの仕方を考えていけば良い。
- ・本事業の効果はある程度確認されていると思います。ただ、その中身を(1回当たり補助額)を考えてその変化をみるのも良いかと思います。40代までの観光客をターゲットにした内容を考える事も必要。
- ・今後事業の方向性を考えるためにアンケート調査を拡充し、そのデータを用いた分析を実施して頂きたいと考えます。そして、当該分析結果を踏まえ、今後の方向性を考えていただければと存じます。

## 《縮小—縮小》

- ・他にお金の使い方がないか、多面的に検討する必要があると思う。
- ・百舌鳥古墳群の世界遺産登録を目指すのなら古墳周辺の整備等、魅力を高める努力必要。
- ・スポット一つに対し周辺に土産物屋や喫茶店、ショッピングモール等も少なく、観光地として付随する魅力に欠ける。この助成以前に他の事業の見直しが必要かと思う。
- ・観光地を並べているだけでは、客は集まらないと思う。大茶会やお香のたき方に工夫したり、名物のおまんじゅうを新しい感覚も取り入れた雰囲気の良い環境で食べられるなど、やっぱり歴史を身近に感じる事プラスアルファがあったらいいな。市の観光課と企業でいろんな工夫をせずと住んでいる私達も行ってみたいイベントは遠い県外の方も外国の方もきっと行ってみたいと思うと思います。

## 【自由記入欄】

- ・旧市民病院跡地に大型バスの駐車場を計画されていますが、そこから各地への移動はやはり無理が生じるので満足できるものではないが。
- ・地域住民グループの旅行、学校の修学旅行、会社の慰安旅行、その他の旅行客を堺市に誘致するのに、効果が高いと思うので是非他府県の旅行業者、観光業者へのPRを拡充し、観光客の誘致を図ってほしい。
- ・役所の考え方と業者の考え方がかみ合っているのか。事業援助は必要か。市民の税金と対等。
- ・私も40代ですが、堺の観光には興味がありません。それを变える方策が必要だと思います。現資料では40代までが11%ですが、その年齢層を30%以上に増やせば、また堺の魅力が増すと思います。